

2021 年 3 月 21 日(12 週目) 主日礼拝

「権力者と世界福音化」(エス 8:1-8)

神様は、権力者を通して歴史を動かしておられる。サタンが権力者を通して働くときには悪い事が起こる。しかし、権力者に神様が働くと全て成り立つようになる。神様が歴史を変える。ペルシャのアハシュエロス王は、ギリシャの国を攻めとることを目論んでいた。戦争に行く前に人々の心を奮い立たせるために、大宴会を催していた。大宴会で王妃のワシィティを呼んだが、王妃のワシィティは来なかったので廃位された。次の王妃として、エステルが召されるようになった。エステルは、幼い頃に両親を亡くし、叔父のモルデガイに育てられていた。エステルが王妃となり、モルデガイは、ペルシャの公務員として仕えていた。モルデガイに神様が働き、王の暗殺の計画を聞いた時にも、暗殺を止める手柄をするほどのこともしていた。私達が、日本福音化、世界福音化を中心に持っている、仕事の中で功績も与えて下さる。神様は、モルデガイ、エステル、アハシュエロス王をどう用いたのか。

1. ハマン＝サタン	2. エステルとモルデカイ	3. アハシュエロス
▲ハマンは、アハシュエロスの次に権力がある人物であった。このハマンがサタンのような役割をした。 1)ハマン(エス 7:6) (1)ハマンは、ユダヤ人を憎む者であった。 (2)ハマンをヘブル語の数字で表すと 666 になる—サタンの数字 (3)ハマンはサタンの役割をして、ユダヤ人を苦しめた。 (4)ハマンはユダヤ人を迫害する者であった(エス 8:1)。 2)アガグ人—ハマン(エス 9:24) (1)アガグ人は、何度もイスラエルを苦しめた民族であった。 (2)サタンは、私達を何度も苦しめてくる。 (3)私達はサタンに対する敵意を持ちサタンと戦うように。 3)サタンは自分を拝ませるようにする(エス 3:2-5)。 (1)ハマンは自分を拝ませるようにした—サタンは自分を拝ませる。 (2)モルデガイはハマンに拝もうとしなかった。 (3)ハマンは怒り、ユダヤ人を全滅させようと思った。 (4)ハマンはサタンのような働きをしていた。 (5)サタンは、権力者を通して神の子供に対して迫害をする。(サタンが国家体制を通して迫害する：中国、北朝鮮等) 4)私達は、サタンに対する敵対心を持つ(創 3:15)。 (1)サタンと戦うように。 (2)キリストがサタンの頭を踏み砕く。 (3)私達の問題はサタンからの問題—サタンに対する敵意を持つ 5)私達は悪魔と戦おうとすれば勝利をする(ヤコ 4:7)。 6)ハマンは王に嘘をつきユダヤ人を全滅する許可をもらう(エス 3:6-9)	▲ユダヤ人全滅の計画を聞いて、モルデガイはエステルに言葉を述べた。 1)モルデガイは、エステルがこのまま沈黙を守るのであれば、エステル自身が滅びると述べる(エス 4:13-14)。 2)王の前に出る時に、エステルは、断食の祈りをするように伝える。 (1)エステルは死ななければいけないのであれば死ぬと決断した(エス 4:16) (2)悪魔は罪、死を恐れさせる。 2)ユダヤ人がエステルのために断食祈りをした (エス 4:17)。 (1)日本福音化の為には、全聖徒が共に祈りを捧げていくように。 (2)日本福音化を妨げるサタンの力が完全に打ち砕かれるように。 3)エステルは王の前に出ていった。 (1)王に対して神様が働き、エステルは王の前に出ることができた。 (2)王とハマンは、エステルの宴会に参席をするようになった。 (3)エステルは確信をもっていたので王に対して余裕を持って願いを述べた—キリストと私が一つであるので余裕を持つことが出来る。 (4)王が眠れない時に、年代記の書を読む中でモルデガイが王を救ったことを知る(エス 6:1)。 —王は、モルデガイに報いを授ける。 4)エステルは、王に自分と民族が絶滅の危機にいることを伝える(エス 7:3-4) —ハマンがエステルの民族を殺そうとしていることを知って、王は憤る。	▲アハシュエロス王が、外に出ている間に、ハマンが命乞いをしてエステルの服の裾を握っているのを見て、王は更に憤る。 1)王は憤りハマンと子らを柱にかけた (エス 7:9-10、9:25)。 (1)危機に立たされていたユダヤ人に大逆転が起こった。 (2)最高権力者が神の側に立つようになった。 —ハマンに代わり、モルデガイがハマンの地位に立った。(エス 8:1-2) (3)ユダヤ人に危害を加える者を罰する法律が出来る(エス 8:11) 2)ペルシャ帝国の人々がユダヤ人が力を持ったことを分かり、ユダヤ人を恐れ、改宗するようになった(エス 8:15-17)。 (1)旧約時代に大きな宣教運動が起こる。 —異邦人がユダヤ教に改宗をしていった。 (2)プリムの祭り(エス 9:24-26) —絶滅させるはずのユダヤ人が大逆転を起こしたことを記念してプリムの祭りをを行うようになった。 (3)私達が霊的な戦いをする時に、必ず大逆転が起こる。 ・サタンに立ち向かえば、サタンに勝利をする。 —現場の人々が救われるようになる。 (4)権力者を私達の味方とするように。 —私達が、霊的な戦いをすれば権力者が味方になる。 (5)権力はすべて神様がたてた権威である (ロマ 13:1)。 (6)権力者のために祈りをするように(Ⅰテモ 2:1-2)。 ▲結論 (1)私達の内にキリストがおられる。 —真の王が私達の内におられる。 (2)私達は神様の子ども。 —神様を父と呼び、イエス様と同じ身分を持った。 (3)王としてサタンを打ち砕き、祭司として罪の許しのために祈り、預言者として福音を伝える(Ⅰペテ 2:9、使 27:24)。

現場地教会(2021年3月21日～2021年3月27日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「権力者と世界福音化」(エス 8:1-8)

【讚美】 277 闇に住む人々みよ

【祈り】

①教会の祈りの課題

1. 全聖徒が御座の祝福を味わう霊的見張り人となり、福音と祈りでミッションを掴み、日本と237に働く暗闇と霊的戦いができますように。
2. 全聖徒が霊的医者となり、霊的な病で死んでいく日本と237を、御言葉と祈りで癒すことができますように。
3. 全聖徒がキリストの霊的サミット大使となり、日本と237のサミットを原色福音で生かして育て、キリストの福音を伝えることによって、日本をキリスト教国家にできますように。
※御国イザヤ牧師に聖霊充満と5つの力が与えられるように。
②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 祈り題	1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27) 2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17) 3. レムナント(イザヤ 6:13) 4. 癒し(使徒 19:8-20) 5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23) 6. 200 都市(創世記 41:36-38) 7. 1000 大学(使徒 19:9-10) 8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3) 9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3) 10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237) 11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10) 12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)
契約の祈り (主日礼拝)	1. サタンは、偶像崇拜で人間を滅ぼし、権力者を利用して教会を迫害しますが、サタンを滅ぼした真の王なるキリストと共に霊的戦いをするとき、完全な勝利をくださることを感謝します。 2. 勝利の確信を持って、福音化を妨げるサタンに対してチームで祈る霊的戦いをするとき、神様が権力者を動かして歴史を変え、日本福音化が成されることを信じます。 3. 歴史を動かすキリストが私と一つになっておられることを味わいながら、福音化を妨げるサタンと霊的戦いをし、権力者を生かす現場福音化・日本福音化の答えを受けますように。
お知らせ	1. 3/30(火)10:00～21:00 日本リーダー修練会(オンライン開催) 3/31(水)13:00-4/1(木)17:00 日本レムナント大会(オンライン開催) 2. 4月3日(土)10:30～サミットスクール入園式 3. 4月4日(主日)イースター礼拝、洗礼式
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8／tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝 7:00 ／ 2部礼拝 10:00 ／ 3部礼拝 12:00	